取扱説明書

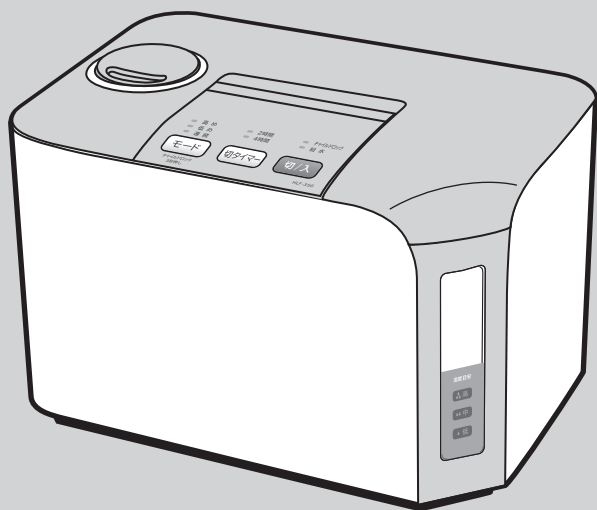
日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についていますので、
お買い上げの販売店の記入をお受けください。

家庭用

スチーム式加湿器

型式 HLF-350
(エッチエルエフ ３ ５ ０)

このたびは、スチーム式加湿器をお求めいただき、まことにありがとうございました。
この「取扱説明書」をよくお読みになり、正しくご使用ください。
なお、お読みになった後は、大切に保存し、必要なときお読みください。

Hitachi Living Systemsは
日立リビングサプライの英文社名です。

- このスチーム式加湿器は一般家庭用です。他の用途での
  ご使用はしないでください。思わぬ事故の原因となります。
- この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の
  異なる海外では使用できません。
  またアフターサービスもできません。
- 地震・火災など緊急時や異常時には、
  直ちに電源プラグを抜き、ご使用を中止してください。

目 次

安全のため必ずお守りください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

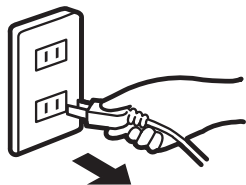
この記号は注意(危険・警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な注意内容が描かれています。

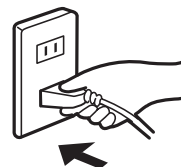
この記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。

この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容が描かれています。

警　告

異常なときは、運転を止め差込プラグを抜く

● 火災・感電の原因となります。
お買上げの販売店または、「ご相談窓口」(☞20 ページ)にご相談ください。

差込プラグは、コンセントの奥まで確実にさし込む

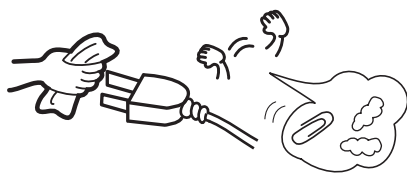
● 感電やショートして、発煙や発火することがあります。

定格15A以上のコンセントを使用する

● 他の器具と併用すると、コンセント部が異常発熱して、発火することがあります。

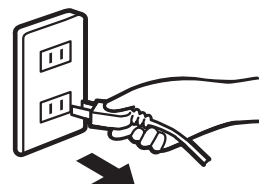
交流100Vを使用する

● 火災・感電の原因となります。

差込プラグのほこりやごみを定期的に取る

● 湿気などで絶縁不良となり、火災の原因となります。

排水は差込プラグを抜いてから行う

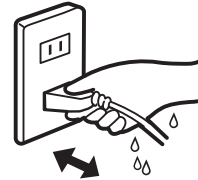
排水やお手入れは、運転停止後、必ず差込プラグを抜いてから行う。

● 感電をすることがあります。

警　告

お茶や水などをこぼさない

● 万一こぼれたときは、過熱・感電のおそれがありますので、ただちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

ぬれた手で差込プラグやマグネットプラグを抜きさししない

● 感電やけがをすることがあります。

コードを乱暴に扱わない

コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしない。また、重い物を挟み込んだりしない。

● コードが破損し、火災・感電の原因となります。

分解や修理をしない

改造しない。また、修理技術者以外の人は、分解や修理をしない。

● 火災・感電・けがの原因となります。
修理は、お買い上げの販売店または、「ご相談窓口」（☞ 20 ページ）にご相談ください。

コードをたばねて通電しない

● コードが過熱し、火災・感電の原因となります。

タコ足配線をしない

● 電気容量が超え、分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります。

異物を入れない

吸気口・吹出口の穴やすき間にピンや針金などを入れない。
マグネットプラグにピンや針金などの金属片やごみを付着させない。

● 感電や異常動作してけがをすることがあります。

コードが傷んだときは使用しない

コードや差込プラグが変形・変色・損傷している、コードの一部や差込プラグがいつもより熱い、コードを動かすと通電したり、しなかったりする、また、コンセントの差込口がゆるいときは使用しない。

● 感電・ショート・発火の原因となります。

安全のため必ずお守りください（つづき）

警　告

お手入れに塩素系・酸素系の洗剤を使用しない

● 有毒ガスが発生する原因となります。

水タンクに水道水（常温）以外の物を入れない

ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、また 40℃以上のお湯や汚れた水などは入れない。

● 火災や故障の原因となります。

本体を水につけたり、かけたり、直接水を入れない

本体の水を捨てるときは差込プラグを抜き、排水方向から捨てる。

● 感電・ショートの原因となります。

乳幼児や自分で操作できない方などが使用されるときは、特に注意する

● やけどの原因となります。

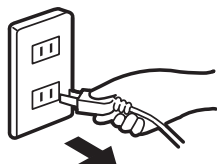
子供だけで使わせたり、幼児の手の届く場所では使わない

● 感電、けが、やけどの原因となります。

※特に乳幼児にはご注意ください。

注　意

必ず差込プラグを持って抜く

● 感電やショートして発火することがあります。

ハンドルをしっかり持つ

ぬれた手でハンドルを持つときは、すべりやすいので注意する。

● 落下すると、けがや水漏れ等の製品故障の原因となります。

移動時は、水平に持ち運ぶ

水タンクに水が入っているときは、本体を振ったり、傾けたりしない。

● 傾けすぎると、水がこぼれる場合があります。

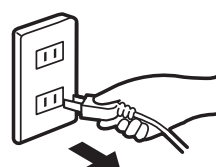
水タンクの水は毎日新しい水と入れ替える

本体内部は常に清潔に保つよう定期的に掃除する。

● 掃除せずにお使いになると、汚れや水あかにより、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因となります。

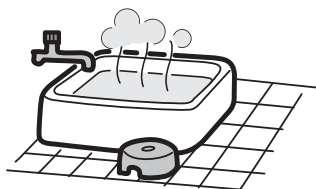
まれに体質によっては過敏に反応し、健康によくないことがあります。
※この場合は医師に相談してください。

使用しないときは、差込プラグを抜く

● けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

⚠ 注　意

浴室や屋外で使用しない

● 感電やショート・発火の原因となります。

水場使用禁止

衣類などを掛けない

吸気口・吹出口をふさがない。

● 過熱や火災の原因となります。

不安定な場所に置かない

転倒すると水がこぼれます。

● 感電・ショートの原因となります。

落下した水タンク・本体は使用しない

● そのまま使用すると、水もれやショート・感電・発火の原因になります。

本体に直接水を入れない

本体に直接水を入れない。

● 絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

電気製品の上に置かない

● 転倒すると、感電やショートの原因となります。また、本体底面の熱により、変色・変形の原因となります。

燃えやすい物の近くで使用しない

カーテンの近くや、机の下など周囲を囲まれた場所で使用しない。

● 火災のおそれがあります。

ペットのいる部屋では使用しない

● ペットが本体やコードを傷めることがあり、火災・感電・故障の原因となります。

本体の水を捨てるときは、排水方向から捨てる。
（本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因）
「お手入れのしかた」（☞ 15 ページ）を参照してください。

同じ場所で長期間使う場合は、ときどき製品下部や床を清掃する。
（水がこぼれたまま放置した場合、床の腐食の原因）

乳幼児などが、誤ってマグネットプラグをなめないようにする。
（感電・けがの原因）

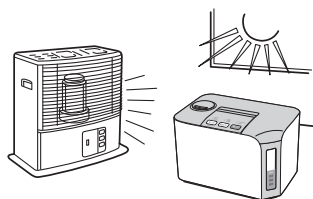
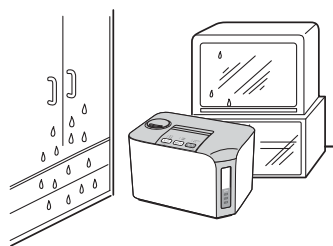
使用中や運転停止後約 60 分間は、持ち運んだり、お手入れしたりしない。
（熱湯や本体高温部によるやけどの原因）

吹出口・吸気口やすき間にピン・針金などの異物を入れない。
（感電・異常動作してけがの原因）

吹出口にさわったり、手や顔などを近づけたりしない。※蒸気吹出し温度は約65℃
（やけどの原因）

置き場所について

次の場所には置かない

- **暖房器具などの近くで、高温になるところ。**
  輻射熱や温風を直接受けるところ。
  直射日光のあたるところ。
  油のつきやすいところ。
  （プラスチック部品が変形、変質の原因
  湿度センサーが正しく働かなくなるおそれ）

- **加湿器の吹出した風が直接家具、楽器類、テレビなどの電気器具、壁、天井などにあたったり、周りに障害物があるところ。**
  （家具などにしみや変形ができたり、故障の原因）

- **暖房器や電化製品及び不安定な台の上。**
  （暖房器の熱で変形したり、故障の原因／センサーが正しく働かなくなるおそれ
  転倒し発火・感電・ショート・ケガの原因）

- **畳やじゅうたんの上。**
  （湿気により畳やじゅうたんにカビが発生する原因）

- **テレビ・ラジオ・電話などの近く。**
  （テレビ・ラジオ・電話などに雑音が入る原因）
  1m 以上離し、同じコンセントを使用しない。

- **磁石や強い磁気のものの近く、磁石のつく鉄板の上。**
  （誤動作する原因）

- **湿度の高い場所（90%以上）では使わない。**
  （加湿のしすぎは室内の結露やカビが生えたり故障の原因）

知っておいていただきたいこと

●湿度センサーはファンで部屋の空気を吸い込むことにより、湿度を検知します。

●湿度センサーは暖房気流があたったり、直射日光で暖められたりすると、室内の湿度と異なるコントロールをします。なお、同じ部屋でも場所や高さにより湿度が異なり、他の湿度計と差が出ることもあります。
現在湿度の表示は目安としてお使いください。

●設定された湿度を保つため、現在湿度の表示が設定された湿度になっても加湿を続けているときがあります。

●暖房中の快適な湿度は 50%前後といわれていますが、結露や異常乾燥による悪影響を防止するために次のような点を目安にしてください。
〇湿度が高すぎるとき
①比較的寒い北側の押入れなどに露がついたり、湿っぽい感じがする。
②窓や壁に露がたくさんつき、流れ出している。
気密性の良い部屋などでは 50%前後の湿度でも温度の低い窓などに結露する場合があります。
〇湿度が低いとき
①くちびるやのどが乾き、皮膚がかさかさする。
②家具などのすき間が大きくなり、建具がそる。

●本体を持ち運ぶときに「カラカラ」と転倒OFFスイッチの音がすることがありますが異常ではありません。

●本体内部の湿度センサーを安定させるため、運転開始後20分間は「湿度目安」表示に関係なく、ファンを回しております。それ以降は検知した湿度に応じて自動運転を行います。

●スチームはお部屋の湿度や温度によって見えたり、見えなかったりします。

お願い！

●湿度が高いときには、家具や床を湿らしたり、ぬらすことがありますので運転しないでください。

●お子様やお年寄りには注意してください。
お子様やお年寄り、ご自分で操作ができない方など、加湿のしすぎや、本体の取り扱いなどについて注意してあげてください。

●暖房を止めた部屋で使用すると、壁、天井に水滴がつくことがあります。おやすみのときなどは、特に注意してください。

各部のなまえ

本体正面

本体背面

水タンク

水タンクハンドル

キャップ

本体内部

排水方向ラベル

送風ガイド

フロート
（水位検知センサー）

水槽

操作部 （本体上面）

モードランプ
（☞10～11ページ）
・設定したモード（連続、高め、低め）が点灯します。

切タイマーランプ
（☞11ページ）
・設定した時間（2時間、4時間）が点灯します。

チャイルドロックランプ
（☞11ページ）
・チャイルドロック設定中に点灯します。

給水ランプ
（☞12ページ）
・水タンクの水がなくなると点滅します。

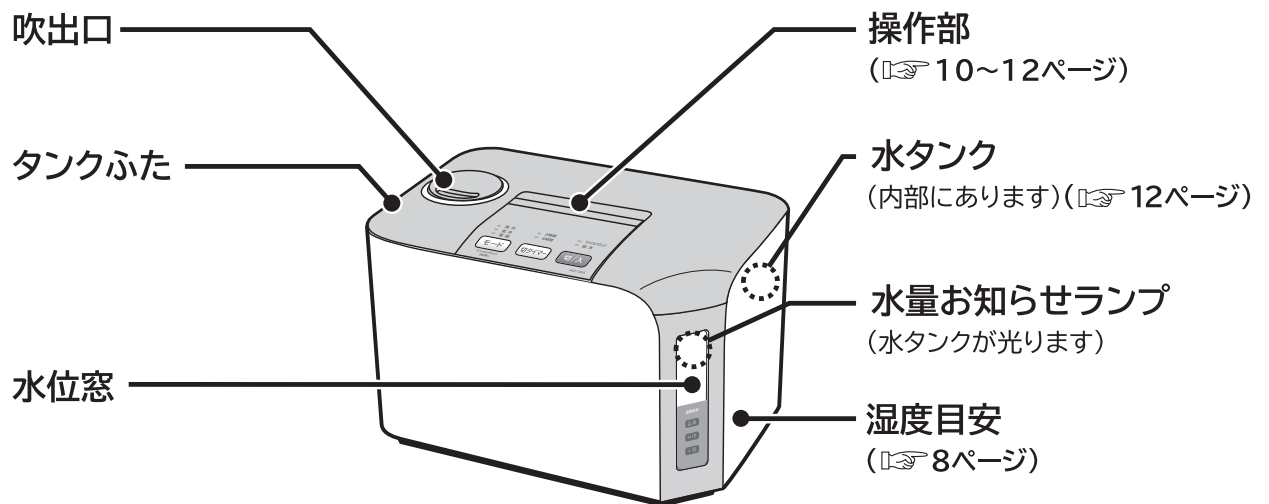
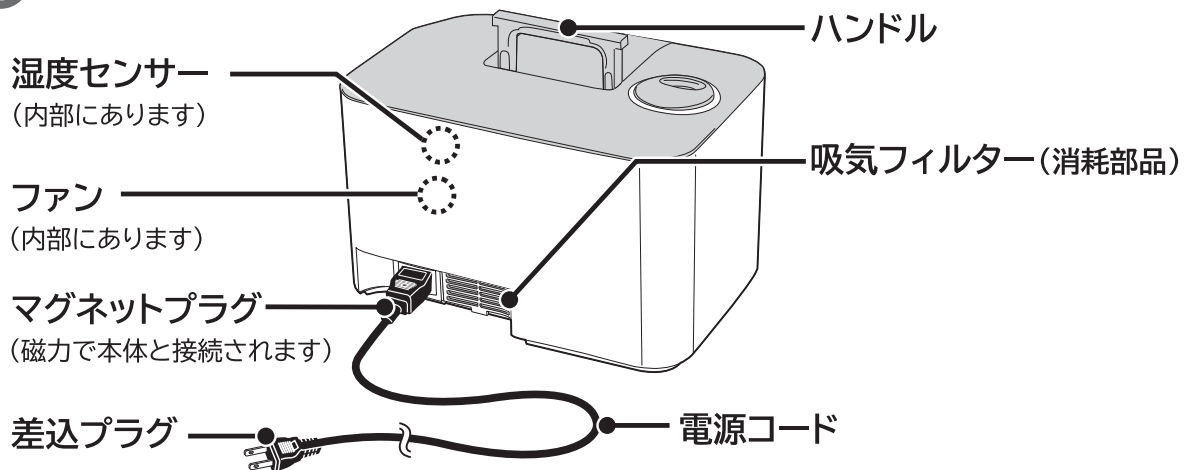
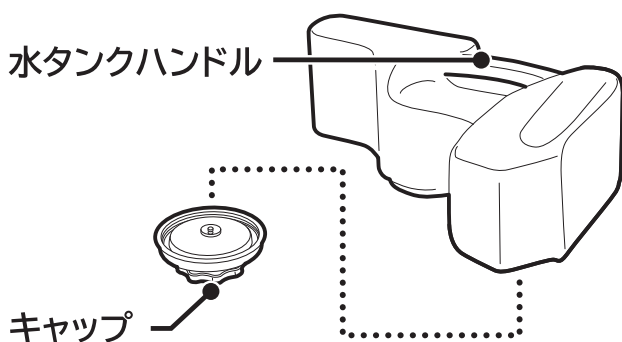
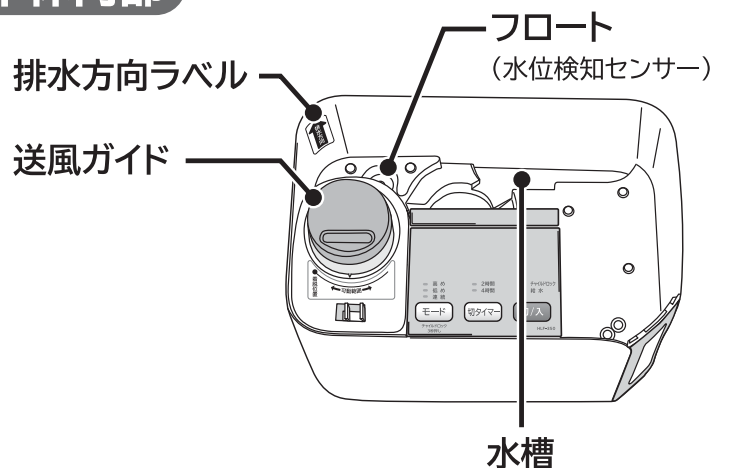
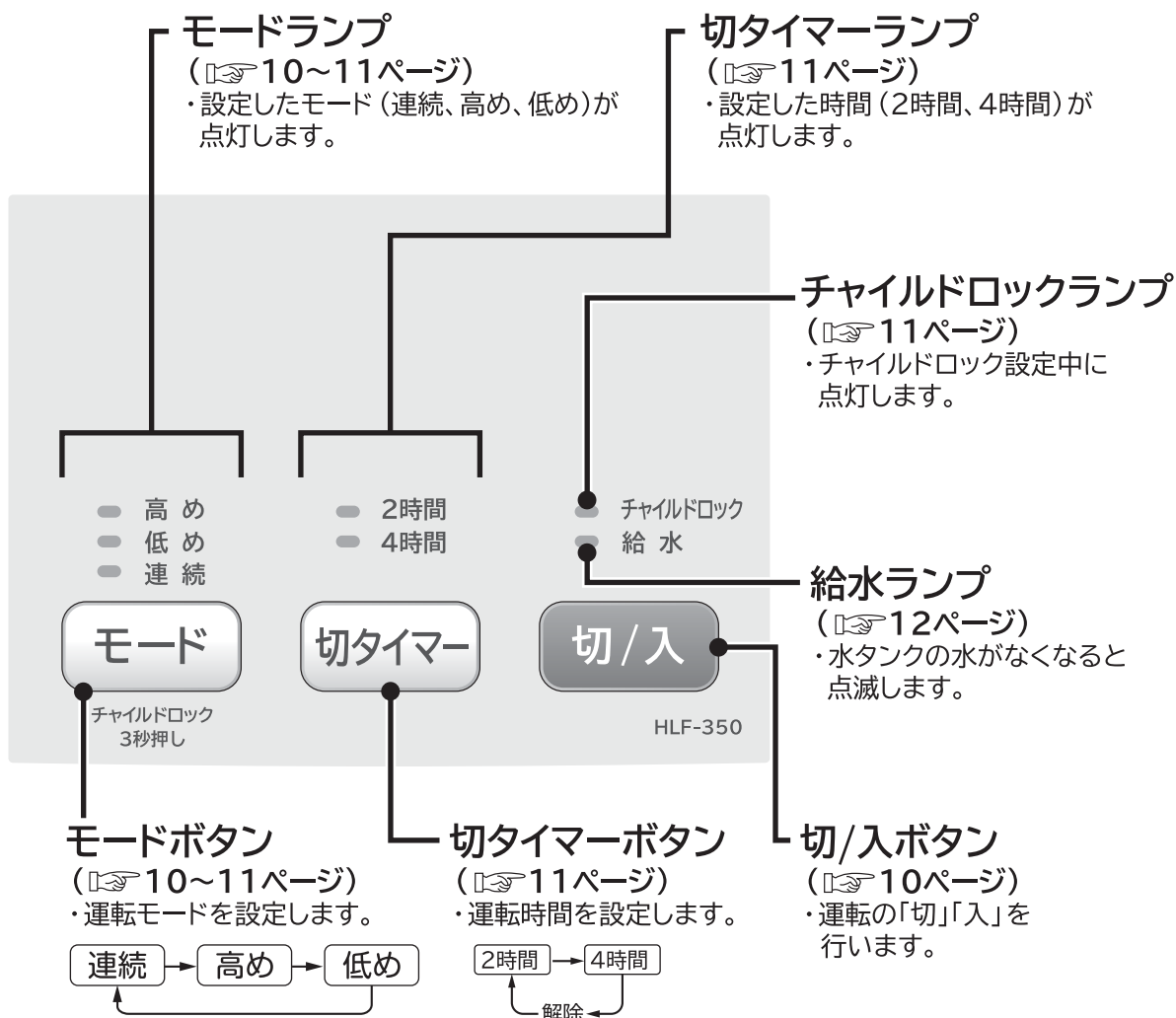
高 め
低 め
連 続
2時間
4時間
チャイルドロック
給 水
モード
切タイマー
切/入
チャイルドロック
3秒押し
HLF-350

モードボタン
（☞10～11ページ）
・運転モードを設定します。

連続 → 高め → 低め →（連続）

切タイマーボタン
（☞11ページ）
・運転時間を設定します。

2時間 → 4時間 → 解除 →（2時間）

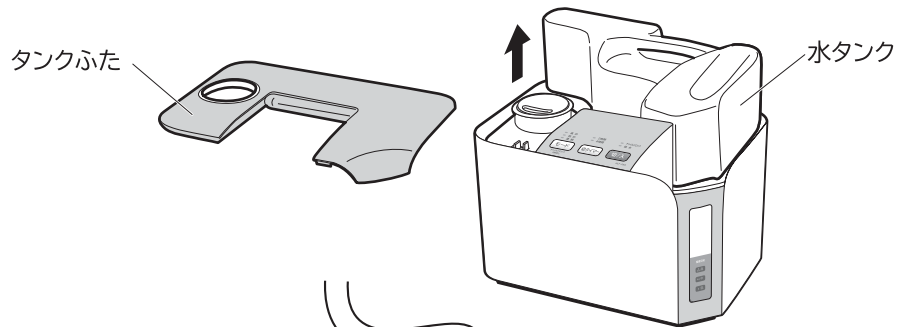
切/入ボタン
（☞10ページ）
・運転の「切」「入」を行います。

湿度目安

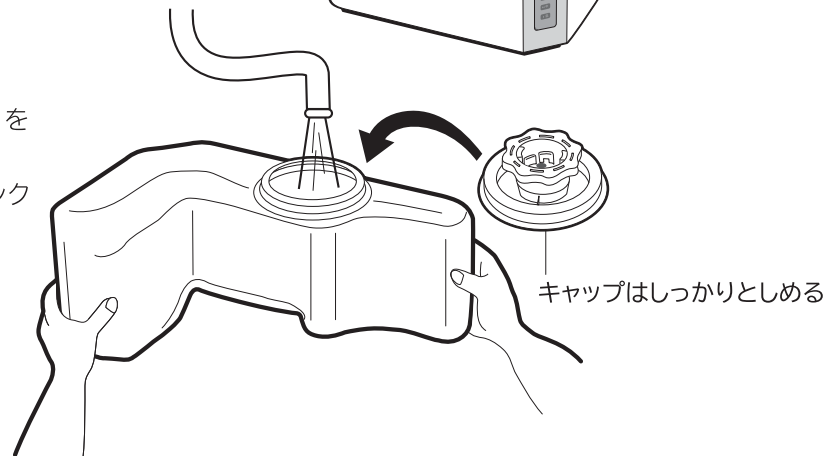
湿度目安表示
・現在の湿度をお知らせします。

【高】	湿度65％以上の時【高】ランプが点灯します。
【中】	湿度45～65％未満の時【中】ランプが点灯します。
【低】	湿度45％未満の時【低】ランプが点灯します。

湿度表示は目安としてお使いください。

ご使用前の準備

1 本体を固定している輸送用テープをはずす

2 水タンクへの給水

①タンクふたをはずし、水タンクを取り出す。
②水タンクにきれいな水道水(常温 40℃以下)を入れる。
③キャップをしっかりしめて本体にセットし、タンクふたをしめる。

- キャップを確実にしめ、こぼれた水をふきとり、水漏れがないことを確認してください。
- 水が入った水タンクをセットするときは静かにセットしてください。本体が破損し水漏れの原因になります。
- 水タンクには約4.0リットルの水が入ります。

注意

水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替え、常に清潔にしてお使いください。

- そのまま使い続けると、カビや雑菌が繁殖し、悪臭の原因になります。

3 ①マグネットプラグを本体側に確実に取りつける ②差込プラグをコンセントに差し込む(交流100Vのコンセントを使用)

警告

差込プラグは根元まで確実に差し込む

- 差し込みが不完全だったり、いたんだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。
感電や発熱による火災の原因になります。

お願い!

- 2シーズン目以降、初めてお使いになるときは、必ず『お手入れのしかた』(☞ 13~16ページ)にしたがってお手入れをしてから使用してください。

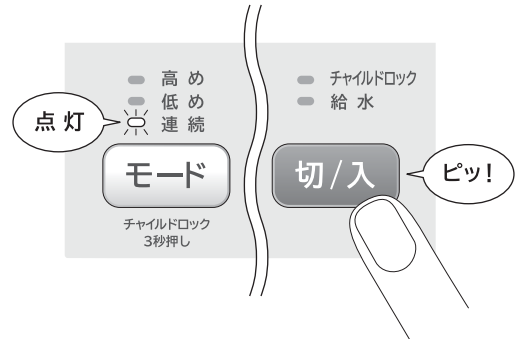
使いかた

1 差込プラグとマグネットプラグが確実に取りつけられていることを確認する

2 切/入 ボタンを押す

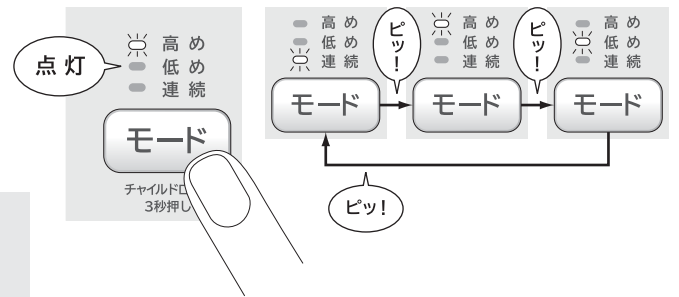
・モード の「連続」ランプが点灯し、吹出口から弱い風が出ます。

スチームが出るまで数分かかります

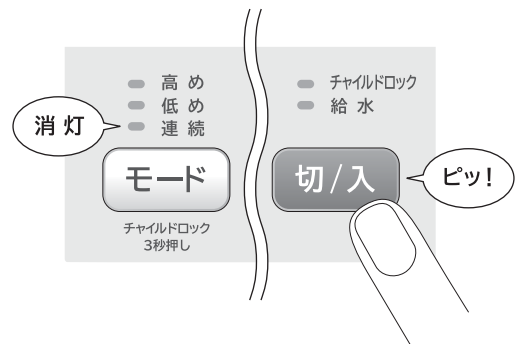
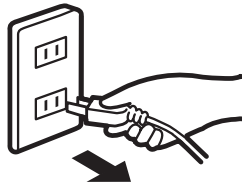
● **部屋の温度や湿度によっては、スチームが見えにくい場合があります。**

モード を切替えるとき

モード ボタンを押す

・モード の設定ランプが点灯します。

お知らせ
使いはじめは、多少のにおいが出ることがありますが、使用とともに出なくなります。

3 運転を止めるときは
切/入 ボタンを押し「切」にする

・設定した モード ランプが消灯します。

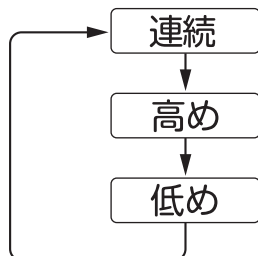
・約 30 秒間送風後、停止します。

4 差込プラグを抜く

お願い
本体冷却の為、約30秒間ファンは運転し送風します。
運転が停止したら差込プラグを抜いてください。

使いかた（つづき）

モードを切換える

モード ボタンを押す

押すごとに設定が切替わります

連続 → 高め → 低め →（連続に戻る）

連続 （自動運転）【連続】ランプが点灯します。
・湿度に関係なく連続で運転します。
・湿度が約90%を越えると加湿を一時停止します。

高め （自動運転）【高め】ランプが点灯します。
・湿度を約60%に保つよう運転します。
・湿度が65%を越えると加湿を一時停止します。

低め （自動運転）【低め】ランプが点灯します。
・湿度を約40%に保つよう運転します。
・湿度が45%を越えると加湿を一時停止します。

●差込プラグを抜くと、運転切替などの設定は、全て初期設定に戻ります。
※湿度表示は本体内部の湿度センサーが検知した湿度

切タイマー運転

2時間後または4時間後に運転を停止します

1 運転中に
切タイマー ボタンを押す

- 切タイマーランプの２時間または４時間が点灯します。
- 設定した時間後に運転を停止し、ランプもすべて消灯します。
- 切タイマー運転中に水タンクの水がなくなるとブザーと共に給水ランプが点滅します。また「水量お知らせ」ランプも「青」から「赤」に変わり点灯します。

切タイマーを押すごとに ２時間 → ４時間 → 解除 →（２時間に戻る） の順に切タイマー時間の設定が変わります。

お知らせ
切タイマー運転を４時間に設定した場合、２時間経過すると４時間のランプが消灯し、２時間のランプが点灯します。
運転が停止するとランプは消灯します。

2 解除するときは
切タイマー ボタンを1〜2回押す

- 切タイマーランプが消灯します。

チャイルドロック

お子さまのいたずらや誤操作を防ぎます

1 モード を約3秒間押す

- チャイルドロックランプが点灯します。
- チャイルドロックになると「切」以外のすべての操作ができません。

2 解除するときは、再度
モード を約3秒間押す

- チャイルドロックランプが消灯します。

お知らせ チャイルドロック中に停電や差込プラグを抜いたとき、チャイルドロックは解除されます。

水タンクの水がなくなると

水タンクの水がなくなると、操作部の「給水ランプ」が点滅し、「水量お知らせ」ランプが「青」から「赤」に変わり、自動的に運転も停止します。（ファンのみ約30秒間運転します）

水タンクに水道水を給水してください。

警告

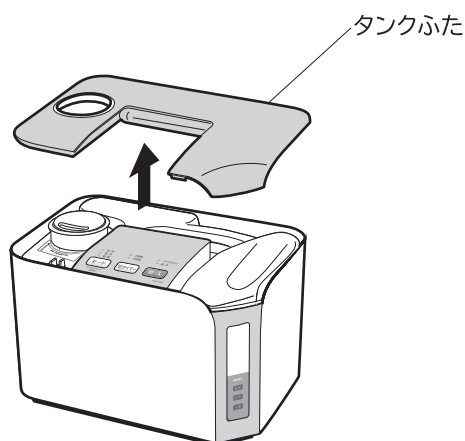
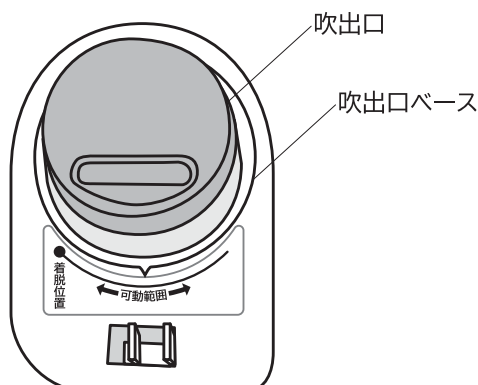
水タンクに水道水（常温）以外の物を入れない

● ガソリン、灯油、化学薬品、芳香剤、40℃以上のお湯や汚れた水などは入れないでください。
火災や故障の原因になります。

吹出口の向きを変える

1 **運転を停止させる**

2 **タンクふたをはずす**

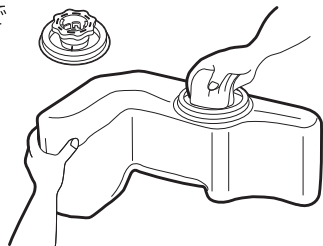
お願い
・十分本体が冷えてから（運転が停止してから約60分間）行ってください。

3 **吹出口ベースをつかんで、吹出口をお好みの向きに変更してください**
※可動範囲は45°以内です。

お手入れのしかた

お手入れは定期的に行ってください。汚れがひどくなると加湿量の低下や故障・悪臭の原因になります。

警告

お手入れのときは必ず運転を止め差込プラグを抜く
本体内部が冷えるのを待ってから(約60分位)お手入れを行う
水タンク、本体のお手入れには塩素系、酸性タイプの洗浄剤は使用しない

水タンクのお手入れ(毎日)

少量の水を入れ、スポンジなどで洗い、常に清潔にしてください。
給水は必ず水道水(常温)を使用してください。

本体のお手入れ(汚れたら)

- 水に浸した柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水で薄めた中性洗剤に浸し、固くしぼってから汚れを拭きとった後、水ぶきをしてください。

お願い!

- 変形、変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルカリ洗剤、クレンザーなどは使用しないでください。
  また、化学ぞうきんを使用するときは、その注意書きにしたがってください。

お手入れ手順

お願い

- お手入れをしないで使い続けると、本体内部に水あかが固まって取れなくなったり、故障の原因になったりします。定期的にお手入れしてください。

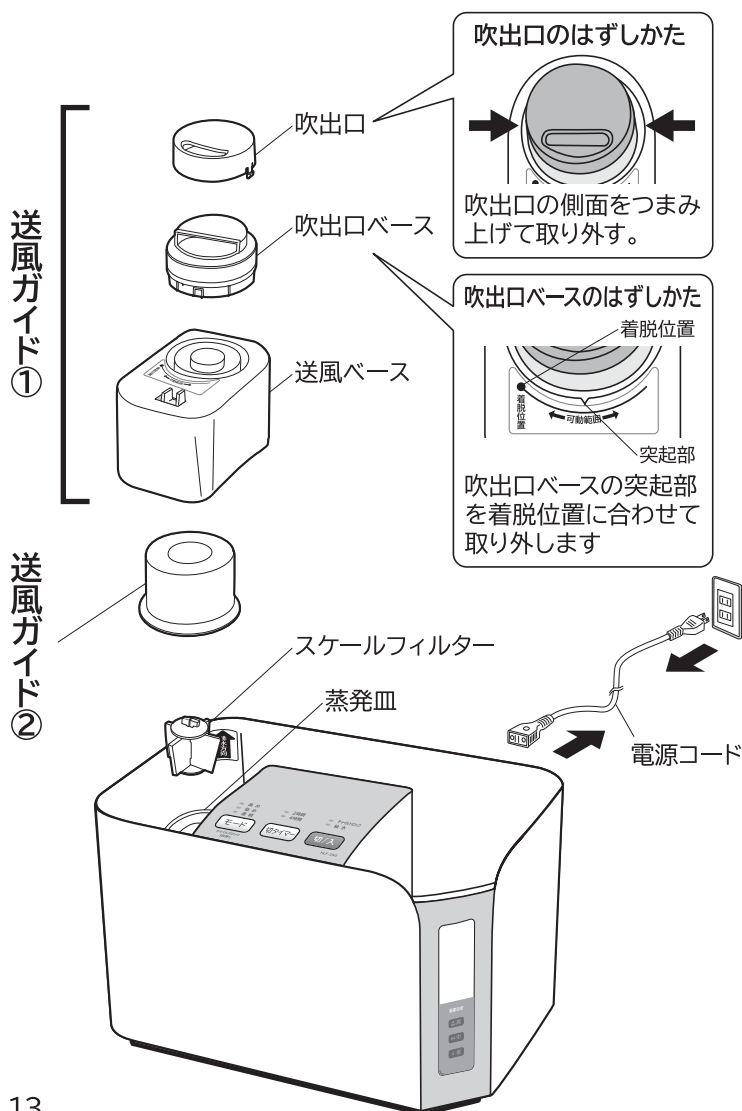
準備

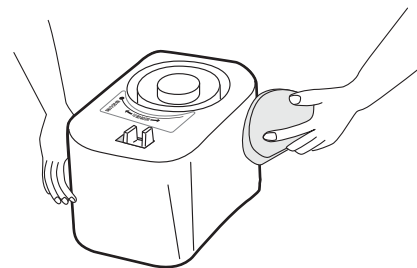
1. 電源コードをはずす
2. 本体内の部品をはずす
(送風ガイド①→送風ガイド②の順番で取り外してください)

各部のお手入れ

14、15、16 ページ参照

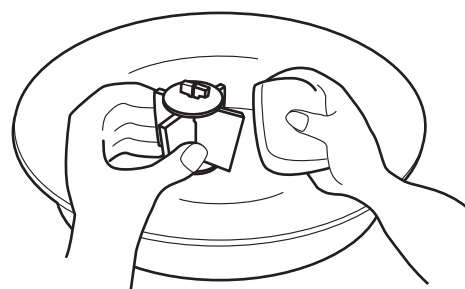
お手入れが終わったら

1. 部品を元通りに取り付ける
(送風ガイド②→送風ガイド①の順番で取り付けてください)
2. 電源コードを取り付ける

送風ガイド①・②（1 週間に 1 回程度）

水を含ませたスポンジなどで水洗いし
水あかを取る

スケールフィルター（1 週間に 1 回程度）

やわらかくなるまで手で水洗いし、水あかを取る

本体に入れるときは、形を元通りに整えてください。

スケールフィルターは消耗部品です。
型くずれしたり、破れたりしたらお買い上げの販売店でお買い求めください。
廃棄するときは、お住まいの地域のごみ分別方法に従ってください。
（材質：ポリエステル）

型式：HLF-350SF（スケールフィルター）
希望小売価格：315 円（税込）
（希望小売価格は 2013 年 6 月現在のものです）

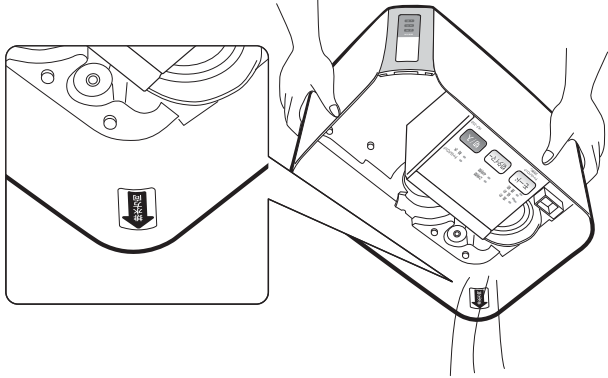
スケールフィルターは必ずセットしてからご使用ください

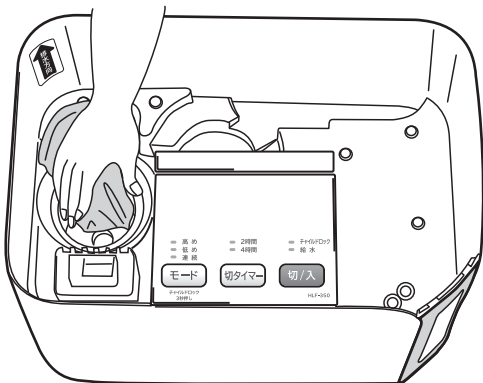
- スケールフィルターは水道水に含まれる鉄分やカルシウムなどを吸収して蒸発皿へのこびり付きを低減します。また加湿量にも影響するとともにスケールフィルターなしでは沸騰音が大きくなります。

お手入れのしかた（つづき）

蒸発皿・水槽（1ヶ月に1回程度）

お手入れの仕方

1. 本体内部の水を、排水方向ラベルの矢印側に傾けて捨てる

2. 水に浸したやわらかい布で水あかをふき取る

水あかが落ちない場合は、歯ブラシのブラシの部分を使って落としてください。（歯ブラシの柄の部分は使用しないでください）

お願い

・排水方向から排水しないと内部に水が入り、故障の原因になります。
・マグネットプラグ差込み口に水がかからないようにしてください。故障の原因になります。
・蒸発皿には、金属へら、金属たわし、金属ブラシ、クレンザーなどを使わないでください。表面のフッ素樹脂に傷が付き、故障の原因になります。
・本体内部のお手入れには洗剤を使わないでください。吹出口から泡が吹き出す原因になります。
・フロートにゴミが付着すると正常に動作しないことがあります。確実に取り除いてください。
・蒸発皿の下穴の部分はゴムホースにつながっています。棒などでつつかないでください

蒸発皿の水あかが落ちにくいときは

1. 満水にした水タンクを本体にセットして、電源コードを接続する

2. 運転スイッチを押す

● 給水ランプが消灯していることを確認してください。

3. 運転スイッチをもう一度押して運転を止め、電源コードをはずす

4. タンクふた、水タンク、送風ガイド①・②、スケールフィルターをはずす

5. 蒸発皿にクエン酸約10g（小さじ2杯）を入れ、スケールフィルター以外の部品を元通りに取り付ける

● スケールフィルターは、クエン酸洗浄できません。
● クエン酸濃度が高くなると、故障原因になります。10g以上入れないでください。

6. 電源コードを接続し、運転スイッチを押す

7. 約90分運転後、運転スイッチを押して運転を止める

8. 本体を冷ましてから（運転を停止してから60分後）、電源コードと本体内の部品をはずし、排水方向から水を捨て、やわらかい布で水あかをふき取る

9. 再度水タンクを本体にセットし、蒸発皿に水がたまってから水タンクを取り出し、排水する

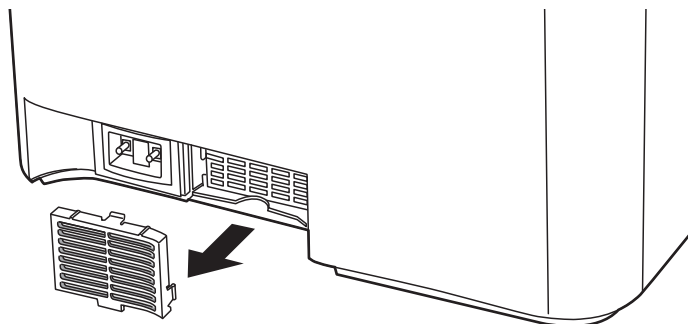
● これを2〜3回繰り返してください。
● 排水後、蒸発皿や、蒸発皿下穴部のホース内部に水あかが残っていないか確認してください。水あかなどが残っている場合は、なくなるまで繰り返してください。

お願い

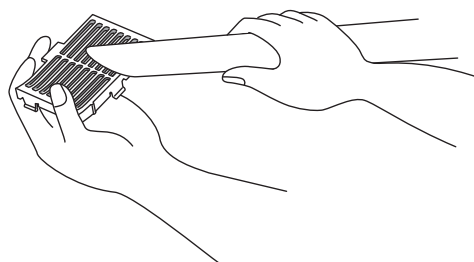
・クエン酸のにおいが発生するため、換気扇に近いところで換気をしながら行ってください。
・タンク内にもクエン酸の成分が残るため、必ず水タンクの水を入れ換えてください。
・クエン酸は薬局等でお買い求めください。
＊クエン酸は、幼児の手の届かないところに保管してください（食品衛生上無害です）

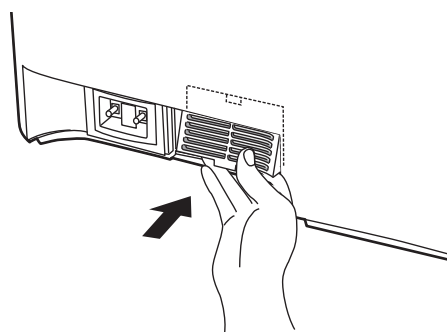
吸気フィルター（1ヶ月に1回程度）

汚れがひどくなるとスチームの出かたが弱くなります

1 吸気フィルターを取りはずす

2 吸気フィルター表面のほこりを掃除機で吸い取る

掃除機の吸引力を弱くしてお使いください

- 水洗いはしないでください。吸気フィルターの効果が低下します。

3 吸気フィルターを取り付ける

吸気フィルターの凸部を本体凹部に差し込む

お願い

・吸気フィルターをはずしたまま使用しないでください。
故障の原因になります。

- 吸気フィルターは消耗部品です。
やぶれたり、汚れなどが取れなくなったときは
お買い上げの販売店でお買い求めください。

型式：HLF-350FW（ホワイト）・HLF-350FB（ブラック）
希望小売価格：315円（税込）
（希望小売価格は2013年6月現在のものです）
※本体色により、吸気フィルター色が異なります。
ご確認のうえ、お買い求めください。

転倒 OFF スイッチについて

本体を倒す、傾けるなどすると対震転倒OFFスイッチがはたらき、運転を停止します。

- こぼれた水をふき取り、本体を確認します。
- 平らな場所に置き直し、 切/入 ボタンを押して、再度「入」にしてください。

注意

本体内部の水がこぼれた場合は、差込プラグをコンセントから抜いて床面や本体周囲についた水をふき取ってください。

保　管（長期間使用しないとき）

1. 差込プラグを抜く

2. お手入れをする

- 13〜16 ページの「お手入れのしかた」にしたがって、掃除をした後、**各部の水気をよく拭き取り、じゅうぶん乾燥させてください。**

  ※湿ったまま保管するとカビの原因になります。特にスケールフィルターを保存する場合は水をよく切り、**じゅうぶん陰干しして乾燥させてください。**

3. 湿気の少ないところに保管する

- 加湿器の入っていた箱に入れるか、ポリ袋に入れて湿気の少ないところに保管してください。

故障かな?と思ったら

分解修理・改造の禁止

● 分解修理・改造はしないでください。**火災・感電・けがの原因になります。**

次の状態は故障ではありません

修理を依頼される前に、次のことをもう一度お調べください。それでも直らない場合は差込プラグを抜いてから、お買いあげの販売店またはご相談窓口(裏表紙)へご連絡ください。

症　　状	点検するところ	処置のしかた
加湿しない	・水タンクの残量を確認願います。	・加湿するまで数分かかります。
	・運転直後ではありませんか?	
	・モードが「低め」に設定されてませんか?	・お部屋の湿度を低めにコントロールしているためです。
湿度目安表示値と他の湿度計との値が違う	・吸気フィルターにごみ等が溜まっておりませんか?	・吸気フィルターを掃除してください。(☞16ページ)
		・水タンクの水が減っている場合は正常にに加湿しておりますので、そのままお使い下さい。
		・本製品は本体内部の湿度センサーで検知した値を表示しておりますので、他の湿度計との測定場所が異なる為、表示する値が異なる場合があります。目安としてください。
臭いがする	・吸気フィルター・水タンク・水槽部に残っている水が汚れていませんか?	・吸気フィルター・水タンク・水槽部を掃除してからご使用ください。
	・クエン酸洗浄を行っていませんか?	・クエン酸の臭いは15ページを参照してください。
運転しない	・差込プラグ・マグネットプラグがはずれていませんか?	・差込プラグをコンセントに、マグネットプラグを本体に取りつけてください。
	・チャイルドロックが設定されていませんか?	・チャイルドロックの設定を解除してください。
水タンクから水がもれる	・キャップがしっかりしまっていますか?	・キャップをしっかりしめてください。 ※キャップ部に付着した水がたれます。(☞9ページ)
本体からパチッと異音がする	・吸気口、吹出口を塞いでいませんか?	・本体の異常温度上昇防止用の保護装置の動作音です。
	・吸気フィルターにごみが溜まっていませんか?	・塞いでいるものを取り除いてください。
送風が止まったりする。(運転音が大きくなったり小さくなったりする)	――	・本体内部の湿度センサーにより、各運転モードにあわせて自動でお部屋の湿度をコントロールしているためです。(☞11ページ)
給水しても「給水」ランプが消えない。	・水タンクが正しくセットされていますか?	・水タンクを正しくセットしてください。(☞9ページ)
	・フロートに水あかやごみ等の異物がつまっていませんか?	
「ポコポコ」と音がする	・水タンクから給水する音です。	・故障ではありませんのでそのままお使いください。
	・沸騰する音です。	
	・スケールフィルターが入っていますか?	・スケールフィルターが入っていないと音が大きくなります。また故障の原因にもなります。
本体ケース内側や水タンク表面が結露する	――	・冷たい水が結露するのと同じです。結露した時は拭いてください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

アフターサービス等について、おわかりにならないときは、お買い上げの販売店かご相談窓口（☞20ページ）にお問合わせください。

<table>
<tr><td rowspan="1">❶保証書
（裏表紙についています。）</td><td colspan="2">保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。
保証期間はお買い上げの日から1年です。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">❷修理を依頼されるときは 持込修理</td><td>保証期間中は</td><td>修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。
おな、修理内容によっては商品交換にて対応させていただきます。</td></tr>
<tr><td>保証期間が過ぎているときは</td><td>修理して使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。
おな、修理内容によっては、有料にて商品交換で対応させていただきます。</td></tr>
<tr><td>❸補修用性能部品の保有期間</td><td colspan="2">スチーム式加湿器の補修用性能部品を製造打ち切り後 6 年間保有しています。
●補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。</td></tr>
<tr><td>❹ご転居されるときは</td><td colspan="2">ご転居によりお買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。</td></tr>
<tr><td>❺修理料金のしくみ</td><td colspan="2">修理料金＝技術料＋部品代などで構成されています。
技術料：診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれています。
部品代：修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。</td></tr>
</table>

仕　様

特定地域（高地、極寒地など）では、所定の性能が確保できないことがあります

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

項目		仕様
型　式		HLF-350
使　用　水		飲用(水道水)
加　湿　量　※1		約350mL/h
連続加湿時間　※1		約11．4時間
適用床面積（めやす）※2	洋室(プレハブ)	10 畳まで (16 ㎡まで)
	和室(木造)	6 畳まで (10 ㎡まで)
タンク容量		約4.0L
電　源		100V
消費電力（W）		320W
外形寸法		幅34.5、奥行23.5、高さ22.7 cm
質　量		約3.1kg(電源コード、水を除く)
電源コード長さ		1.4m

※1 加湿量、連続加湿時間は室温20℃、湿度 30%の室内で運転した数値です。
※2 適用床面積（めやす）は、日本電機工業会規格（JEM1426）に基づき、プレハブ住宅洋室の場合を最大適用面積とし木造和室の場合を最小適用面積としたものです。
ただし、壁・床の材質・部屋の構造・使用暖房器具等によって適用面積は異なりますので、ご販売店にご相談ください。

ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は
エコーセンターへ
TEL 0120−3121−68
FAX 0120−3121−87

（受付時間）9：00〜19：00（月〜土）、9：00〜17：30（日•祝日）
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は
お客様相談センターへ
TEL 0120−8802−28
FAX 03−3260−9739

（受付時間）9：00〜17：30（月〜金）
携帯電話、PHSからもご利用できます。
土曜•日曜•祝日と年末年始•夏期休暇など弊社の休日は、休ませていただきます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記エコーセンターにて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社や協力会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 保証期間中の修理依頼時は、保証書をご提示ください。
- 上記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

愛情点検

●長年ご使用のスチーム式加湿器の点検を！

ご使用の際このようなことはありませんか	●電源を入れても、ときどき運転しないときがある。 ●電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。 ●差込プラグ、電源コードなどが異常に熱い。 ●焦げ臭いにおいがする。 ●その他の異常や故障がある。

お願い	故障や事故防止のため、コンセントから差込プラグを抜いて販売店にご連絡ください。 点検・修理についての費用など詳しいことは、販売店にご相談ください。

スチーム式加湿器保証書 持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。なお、商品をお買い上げの販売店（修理申出先）やメーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

型式	HLF-350		※ お買い上げ日	保証期間
			平成　年　月　日	本体：1年
※お客様	ご住所 ご芳名	〒　－ 様		
※販売店	住所 店名	〒　－ TEL		

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
(ロ) お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
(ハ) 火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障及び損傷。
(ニ) 一般家庭用以外《例えば業務用等への長時間使用及び車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障及び損傷。
(ホ) 業務用に使用されて生じた故障または損傷。
(ヘ) 本書のご提示がない場合。
(ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合あるいは字句を書き換えられた場合。
2. この商品について出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、ご相談窓口（☞20 ページ）にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
Effective only in Japan.

● この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口（☞20 ページ）にお問合わせください。
● 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」（☞19 ページ）をご覧ください。

修理メモ

株式会社 日立リビングサプライ

〒162-0814 東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03（3260）9611
FAX.03（3260）9739

130711-3